

# 職業訓練校入校 中卒程度 国語コース

## 1. コースの目的

職業訓練校の選抜試験科目(中学卒業者対象)の国語と面接に対応する内容を学習することで、選抜試験への適切な対策を目指す

## 2. 学習内容

国語の選考テストで必ず出題される漢字の読み書きを中心に、日本の小中学校で学習する漢字約1800字について熟語5600字を学習する。また、選考時に実施される、「面接」でのやりとりについても学習する

## 3. 主な対象者

日本語レベルは初級修了以上で、日常会話はできる人。中国で中相当以上の識字力のある人

## 4. 学習期間

12ヶ月まで(期間内に修了しなかった場合は継続申請が可能)

## 5. 使用教材

「漢字を覚えよう 上・下」

「面接でのやりとり (CD付き)」

## 6. 学習プログラム概略

以下12ヶ月の場合だが、受講者のペースで進める

12カ月	漢字	面接	提出物
1～3 ヶ月目	第1回送付物：受講案内、テキスト「漢字をおぼえよう(上)」 第1回課題：漢字(第1課～第16課)		
	「漢字を覚えよう 上」 第1課～第16課		→★第1回課題：漢字(第1課～第16課)
4～6 ヶ月目	第2回送付物：テキスト「面接のやりとり」 第2回課題：漢字(第17課～第32課)、面接第1回課題		
	「漢字を覚えよう 上」 第17課～第32課	「面接のやりとり」 第1課：自分や家族の状況 第2課：経歴	→★第2回課題：漢字(第17課～第32課)、面接第1回課題
7～9 ヶ月目	第3回送付物：テキスト「漢字をおぼえよう(下)」 第3回課題：漢字(第33課～第48課)、面接第2回課題		
	「漢字を覚えよう 下」 第33課～第48課	「面接のやりとり」 第3課：日本語学習歴 第4課：学習の動機 第5課：厳しい質問	→★第3回課題：漢字(第33課～第48課)、面接第2回課題
10～12 ヶ月目	第4回送付物：第4回課題：漢字(第49課～第61課)		
	「漢字を覚えよう 下」 第49課～第61課		→★第4回課題：漢字(第49課～第61課)
	修了証、修了アンケート送付		→★修了アンケート

## 7. このコースのスクーリングの目的

### 《職業訓練校入校を希望する受講者に対して》

#### ①受験指導的な学習相談

まず、受験の時期や受験学科を確かめ、試験科目を確認の上、学習プログラム(どの教材をどの順番で等)の検討や学習スケジュール作りの相談を行う必要がある。

#### ②面接対策はスクーリングで完璧に

職業訓練校入校テストの合否決定の上で面接試験でのやりとりの比重は大きいので、面接での受け答えをスクーリングで重点的に指導する

#### ③漢字は筆記試験対策としての学習を中心に

漢字については、筆記試験で正解を得るためのポイント(漢字も平仮名も正確さを問われること、略字・簡体字なども認められないこと等)と、試験の出題・解答形式に慣れるよう注意、指導する

### 《職業訓練校を目指さない受講者に対して》

漢字学習については「漢字学習コース」の資料を参照。「面接」については、ニーズは低いと思われるので、受講者と相談の上(日常会話でも聞かれる部分に絞る等)スクーリングでの扱いを検討する

## 8. このコースのスクーリングの留意点

### 《職業訓練校入校を希望する受講者に対して》

- ・試験日までの期間にどこに重点をおいて学習するかきちんと計画を立てる。そして、苦手な部分でもある程度まで点が取れるようにする。
- ・複数でのスクーリングを行うときは、お互いに情報交換し、情報の共有化をはかっておくとうい。

## 9. スクーリングの流れと活動例(およそ2時間のスクーリングを想定した場合)

★以下の例は、職業訓練校の受験を希望する受講者に対するプログラム例。受験を希望しない受講者については、「漢字学習コース」のプログラムに基づいて計画する

①オリエンテーション(初回のみ):スクーリングの役割(自学自習を補うもの)、頻度、受講者が複数の場合は自己紹介、(必要に応じて)教材の使い方、遠隔学習の方法について確認

#### ②直接指導

- a. 学習相談-1 受験予定(期日、科目など)を確認し(初回のみ)、現在の学習進度など状況把握を軽く行う
- b. 課題添削終了者には、添削課題を持参してもらい、結果へのアドバイスを行う  
→結果の評価(努力の成果を認める方向で)や間違った箇所の確認、注意点に対する意識化
- c. 課題未提出の場合は学習した範囲の定着度をチェックする(自己チェック問題からの抜粋問題)
- d. 学習内容に関する質問受け
- e. 「漢字を覚えよう上・下」で、学習範囲内のコラム(中国の漢字と日本の漢字の字体の違いについて、日中の漢字の意味の違い等)から学習のポイントとなる部分の解説を行う(必要に応じて)
- f. 学習相談-2 学習方法へのアドバイス、長期的な学習計画を立てる(→個人の状況により、センターのプログラムを変更することも可能)、次回のスクーリング時間に何をするか決める、次回までに自宅で何を勉強してくるか目標を定める

※以下の「面接のやりとり」は、学習者と相談の上、重点的に行う日を作る

- g. 面接試験の準備として、単に日本語面の指導だけでなく適切な答え方(積極的な印象を与える答え方)や態度(マナー・表情・アイコンタクトなど非言語面なども含む)も指導する。面接

場面を想定した模擬練習を行う

### ③間接指導（自習）

以下は、講師が他の受講者に対応している間に受講者が行う課題の例

#### [漢字を覚えよう]

##### a. 受講者が教材を使って行う課題

- ・各課にある太字の漢字語彙、或いは「自己チェック」問題で未定着な部分の単語カードを作る  
→漢字の読みと書き練習に利用するカード（表：日本の漢字、裏：読み仮名、中国語）  
→語彙として覚えるためのカード（表：日本の漢字と読み仮名、裏：中国語）  
→中国と日本では字体の違う漢字カード（表：中国の漢字、裏：日本の漢字）
- ・「自己チェック問題」を再度やってみる
- ・提出課題の「まとめの問題」が終わっていない場合は学習した範囲の問題を記入する

##### b. 講師が教材から作る課題

- ・「まとめの問題」集ごとの定着度チェック問題の作成：「まとめの問題」が返却されている者に対しては、そこから抜粋した問題を作り（主に問題の「一」「二」より）定着度のチェックを行う。余裕のありそうな者に対しては「三」「四」からの抜粋問題も実施
- ・受講者のウィークポイント問題の作成：今回までの学習範囲の未定着項目をチェックしておき、次回までにその部分の問題を作成しておく
- ・受講者が受験する職業訓練校で過去に出題されたテスト問題が入手できれば入手し、テスト形式を見てもらったり、模擬試験としてやってもらったりする（コース終了間近で実施）

#### [面接のやりとり]

##### a. 受講者が教材を使って行う課題

- ・CDを聞いて、テキストを見ないで意味をとったり、後について発話練習をしたりする
- ・練習にある面接官の問いを見て自分の答えを言ってみる、書いてみる
- ・質問のバリエーションを読んで中国語訳を確認する
- ・会話の中国語訳を見て答えの部分日本語で言ってみる、書いてみる

##### b. 講師が教材から作る課題

- ・面接官の問いに対する答えの部分(日本文)を空白にしたものを作成し、CDを聴かせて聞き取ったものを記入させたり、中訳を日本語に直させたり、受講者自身の答えを記入させたりする
- ・面接の際のキーワードとなるような「単語・表現」の定着を図るために、キーワード部分の日本語部分を“虫食い”(中文付き)にした小テストを作成する
- ・本文のポイントとなる文型を取り出し、その文型を使って作文をさせる
- ・(余裕のある学習者には) テキストにはないが、面接で質問を受けそうな想定問題を作って答えを考えさせたり、書かせたりする

## 10. スクーリング実施状況報告から 活動事例など

※漢字については「漢字学習コース」を参照

### ●面接の指導

- ・面接試験では職訓校に入ってから、授業についていけるかどうか講師の質問が理解できるかなども見られているので、受け答えはきちんとしなければならない。敬語をうまく使えるようにするというよりも、質問に対して「はい」「いいえ」がきちんと答え、「です」「ます」をつけて終わるようにすることが大切なので最初と最後を特に注意して練習させている。また、中国の名前は一般の日本人は聞き慣れていないので、中国名の場合はゆっくりはっきり言わせるようにしている。面接の形態も1対1の場合もあれば、1対多、面接官が多いときもあれば、受験者が多いときもあると思われるので、

できるだけ情報を入手して対策を立てている。

- ・模擬面接をすると、課題にある質問には手堅く答えられる。いろいろ聞くと、「そんな質問、テキストにあったか？」と笑いながら応酬されたが、「何聞かれるか、わからないでしょ？」と言ってテキストにない質問もやった。「このコースを希望した理由」の回答で、「就職が簡単」・「給料が高い」は、「今は求人が多い」「収入が安定している」に訂正。また、わからないことに関しては「今はまだわかりません。勉強しながらいろいろ考えていきたいと思います」という答え方を紹介した。

### ●進路指導

- ・受験するコースは決まっているのに、12月のこの時期に2月の受験日や出願などの日程を把握していなかったため、はじめに受験までの学習計画を立てた。
- ・まだ受験コースは未定だが、できれば1年後に訓練校に入校したいとのことだった。しかし今後の学習計画を相談する中で、もし条件が合う訓練校があれば春に受験してみたいという話が出たので、条件などを話し合い、後日連絡することになった。

### ◆\*◆\*◆ 資料 ◆\*◆\*◆

1. テキスト「面接でのやりとり」抜粋（資料①）
2. 提出課題 添削例（資料②）

(資料①)

## 第4課 学習の動機 (学习动机)

着重强调你的学习热情吧。有些科目提出的问题是要 学習の意欲を アピールしよう。科目によっては、学習  
探試你对所学内容的理解程度。 内容についての理解度を 試す質問も出るだろう。

### 会話范例 你听得懂多少? 听 CD 验实力!

(どのくらい聞き取れるかな? 音声教材 (CD) を聞いて実力チェック!)



#### 動機 (动机)

- 面接官： トレース科を 選んだのは どうして ですか。 为什么选择描图科呢?
- 答①： トレースの勉強に 興味があります。 因为我对学习描图很感兴趣。
- 答②： 何か 技術を 身に付けたいんです。 我想要学技术。
- 答③： 中国でも、トレースの仕事をしていたので、 在中国做的也是描图的工作，  
経験を 生かしたい と思っています。 所以想让这些经验派上用场。

#### 研修内容 (培训内容)

- 面接官： CAD製図科では どのようなことを 勉強するか わかっていますか。 你知道在CAD制图科学习什么吗?
- 答①： はい。入校案内には「パソコンを使って、機械や電気機器を製図する。」と書いてありました。 知道。在入学指南上写着：“使用电脑绘制机械和电动机器图”。
- 答②： はい。職安の人から「パソコンを使って、機械や電気機器を製図する。」と聞きました。 知道。听职业安定所的人说是“使用电脑绘制机械和电动机器图”。

[ 文 法 の ポ イ ン ト ( 語 法 重 点 ) ]

① 何か技術を 身につけたいです。

・我想学点儿什么技术。

「疑問詞+か」表示不能够明确加以指定的事物(非特指)。

「疑問詞+か」の形は、はっきり指し示すことができない(不特定)の物事を示す。

例) <sup>なに</sup>何か <sup>わたし</sup>私に <sup>てつだ</sup>手伝える <sup>こと</sup>事は ありませんか。

・有没有什么我能帮上忙的事儿?

<sup>だれ</sup>誰か <sup>たなか</sup>田中さんの <sup>れんらくさき</sup>連絡先を <sup>し</sup>知りませんか。

・有谁知道田中的联系地址吗?

どこかで、<sup>いちど</sup>一度 <sup>しょくじ</sup>食事したいですね。

・下次我们在什么地方吃顿饭吧。

「身につけたい」的「～たい」表示某种希望。在句尾用「～んです。」的话，成为解释，说明的语气，当然也可以说成「身につけたいです」。「たい」的过去时，非过去时，肯定形，否定形，其变化与イ形容词是一样的。

要强调其宾语的时候，不用助词「を」，而是用「が」。

「身につけたい」の「たい」は希望を表す形。文末に「～んです。」を用いると説明口調になるが、もちろん「自立したいです」でも構わない。「～たい」の過去非過去肯定否定は、イ形容词と同じ変化をする。対象語を強調したいときは、助詞の「を」ではなく、「が」を使う。

仕事を を する → 仕事が したい

记住下列例句。

来る	<sup>く</sup> 来る <u>来たい</u> (来) (想来)	もう一度 来たいね。 真想再来一次啊。
～する動詞	<u>～する</u> <u>～したい</u> (做～) (想做～)	<sup>うんてん</sup> 運転の仕事が したいんです。 想做开车的工作。
一段動詞	<sup>み</sup> 見る <u>見たい</u> (看) (想看) <sup>ね</sup> 寝る <u>寝たい</u> (睡觉) (想睡觉)	<sup>きゅうじん</sup> 求人カードを 見たいんですが。 想看看招工卡。 <sup>つか</sup> 疲れたから もう寝たい。 累了，想睡觉。
五段動詞	<sup>やす</sup> 休む <u>休みたい</u> (休息) (想休息) <sup>い</sup> 行く <u>行きたい</u> (去) (想去)	<sup>ねつ</sup> 熱があるので 休みたいんですが。 发烧了，想休息。 学校を 見に行きたいんですが。 想去看一看学校。

第4課 学習の動機(学习动机)

① 問:「どうしてこの科目を 選んだんですか。」

私は<sup>か</sup>建築測量の科目を勉強した<sup>は</sup>の<sup>は</sup>中国でも<sup>していた</sup>この仕事を<sup>した</sup>ので<sup>経験を生かせる</sup>と思った<sup>か</sup>でも日本の専門用語<sup>は</sup>わかり<sup>ません</sup>まだ仕事の<sup>方法</sup>がおなじか<sup>どうか</sup>わかり<sup>ません</sup>から、学校で勉強<sup>しよう</sup>と思<sup>い</sup>ました。  
私は中国で<sup>日本の</sup>測量機<sup>器</sup>を使<sup>い</sup>ました。方法<sup>も</sup>大体おなじ<sup>です</sup>と<sup>思</sup>います。

面接では丁寧な形を使いまわ  
取捨選択して  
言ってください

② 問:「この科目は、どんなことを勉強するか わかっていますか。」

はい、<sup>たいへん</sup>わかり<sup>ます</sup>、測量方法と測量機<sup>の</sup>使<sup>い</sup>方と測量関係の<sup>問題</sup>など、勉強<sup>し</sup>ます。  
ここでは、「入校案内に ~ 書いてありました」とか「 ~ と聞きました」と答<sup>え</sup>る方が、印象が<sup>いい</sup>場合<sup>が</sup>あり<sup>ます</sup>。  
■ 此の場合、自分の知識で答<sup>え</sup>ても大丈夫<sup>だ</sup>と思<sup>い</sup>ます。  
中国での経験<sup>がある</sup>ので

③ 問:「卒業したら、どんな仕事をしたいですか。」→(卒業以后、您想干什么工作)

はい、私は<sup>年を取って</sup>まだ元氣<sup>です</sup>。そして仕事<sup>も</sup>好き<sup>な</sup>人<sup>です</sup>。  
最近<sup>ないし</sup>生活も有意義<sup>です</sup>。まだ中国で30年<sup>くらい</sup>の<sup>仕事</sup>の<sup>経験</sup>も<sup>積</sup>ま<sup>さ</sup>せ<sup>ます</sup>。  
(生かせる) (生かすことが出来ます)

★ 解答は、例<sup>え</sup>は、以下の<sup>よう</sup>な<sup>もの</sup>が<sup>いい</sup>と  
建築測量 } の仕事<sup>を</sup>したい<sup>と</sup>  
航空測量 }  
GPS測量 } 思<sup>い</sup>ます。

第5課 厳しい質問 (尖锐的问题)

① 問: 試験に受かっても、授業に付いていくのは大変ですよ。

はい、予想<sup>も</sup>した<sup>とおり</sup>、わかり<sup>ない</sup>所<sup>は</sup>先生<sup>や</sup>友達<sup>に</sup>聞<sup>い</sup>て、<sup>解決</sup>したい<sup>です</sup>。  
と<sup>い</sup>います。